

イグサ科

タチコウガイゼキショウ

Juncus krameri Franch. et Sav.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

阪神、東播磨、但馬、丹波、淡路

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州、琉球諸島

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

円山川の氾濫原のみでしか確認されなくなっている。
2020年版での新規掲載種。

■ 保護上の留意点

河川改修工事などの際の配慮が重要である。



写真提供:松岡成久

■ 種の概要

湿地に生育する多年草。根茎の節間は短い。茎は直立し、高さ30-60cm、円筒状で径2mm内外になる。茎葉は2-3個、茎より著しく短い。頭花は多数つき、茎の頂に凹集散状に集まる。花は8-10月。頭花は3-10花からなる。蒴果は3稜状楕円形で褐色、先は鈍いが急に凸端になり、花被片より少し長い。